

母校——その現況

繊維学部 の 構成

繊維学部の構成：母校繊維学部には繊維農学，繊維工学，繊維工業化学，繊維機械学，繊維化学工学，機能高分子学の6学科があって，専門分野の教授および研究が行なわれている。その構成は表のとおりである。

学 科	入学定員	講 座
繊維農学科	30 (12)	家蚕生理学及び生態学，家蚕遺伝学及び発生学，栽桑学及び蚕桑生化学，微生物学及び環境科学，応用植物学，応用動物学及び生態学
繊維工学科	50 (10)	繊維物理学，計測学，繊維原料学，繊維機械学第一，繊維機械学第二
繊維工業化学科	45 (10)	物理化学，有機合成化学，高分子化学，高分子物理化学，色染加工学
繊維機械学科	50 (10)	繊維応用力学，繊維機械学，熱及び流体工学，繊維測定機械学，繊維化学機械学
繊維化学工学科	40 (8)	工業物理化学，単位操作第一，単位操作第二，反応工学
機能高分子学科	40 (8)	生体高分子学，反応性高分子科学，高分子加工・崩壊学，資源開発化学
共 通 講 座		応用物理学，応用数学，生物化学，経営工学，一般電気工学
計	255 (58)	

(注) 入学定員括弧内の数字は大学院定員

繊維学部附属施設

施 設	部 門 等
農 場	栽桑部，育蚕部，畜産部，栽培部，経営部
高分子工業研究施設	高分子合成研究部門，高分子物性研究部門

講座紹介

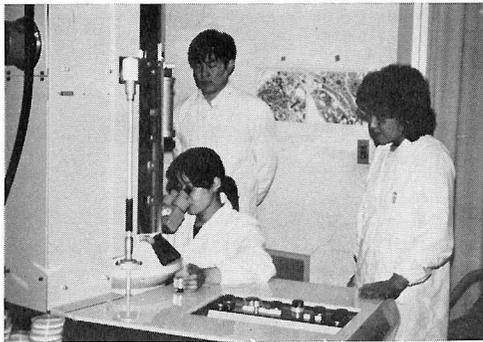
(担当授業科目で○印のついているのは大学院研究科における担当科目)

繊維農学科

家蚕生理学及び生態学講座

構成：教授 田中一行，助教授 金勝廉介，助手 小林 勝

田中教授：担当は養蚕学，家蚕生理生態学，○養蚕学特論。カイコその他数種絹糸の皮膚構造，カイコの放射線生理に関する研究，家蚕蜘蛛外部生殖器の発生分化に関する研究を行ってきた。現在はカイコの血組織に関する電顕細胞化学的研究，重金属中毒蚕における電顕学的研究を行なっている。金勝助教授：担当は家蚕生理学，生化学。○家蚕生理学特論。家蚕消化管における糖質の摂取について研究している。小林助手：蚕ウイルス病に関する一連の研究を行ってきた。現在は農業および重金属中毒蚕の核蚕合成，一部酵素活性からみた被害特性について検討している。



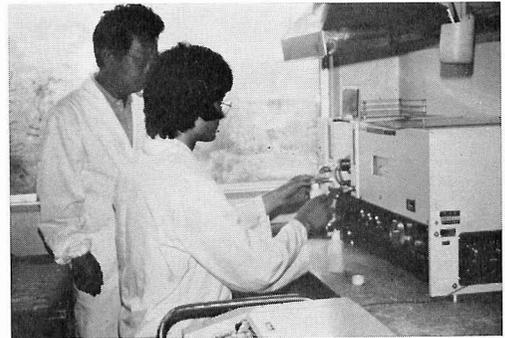
HU-12A型電子顕微鏡

家蚕遺伝及び発生学講座

構成：教授 長島栄一，助教授 武井隆三，助手 中垣雅雄

長島教授：担当は遺伝学，育種学。○生理遺伝学。家蚕皮膚に発現する諸形質の生理並びに発生遺伝学的研究，家蚕におけるウイルス病抵抗性に関する遺伝学的並びに育種学的研究を行ってきた。現在は家蚕における性に関連した形質の発現に関する研究，家蚕の雑種強勢発現に関する研究を行なっている。武井助教授：担当は家蚕発生学，生物統計学。○家蚕発生学

特論。家蚕卵の発育に関する研究を行ってきた。現在は家蚕における単為発生の要因分析，家蚕卵の細胞学的研究を行なっている。中垣助手：家蚕の軟化病ウイルスの性状と構造に関する研究を行ってきた。現在は家蚕のウイルス抵抗性に関する遺伝学的研究を行なっている。



島津A 610型原子吸光分光光度計

栽桑学及び蚕桑生化学講座

構成：教授 古平福紀，助手 武田正男

古平教授：担当は生物化学，蚕桑生化学，○蚕桑生化学特論。病原糸状菌の生産する毒素の単離について研究してきた。現在は植物体に含まれる生物活性物質の単離について検討している。

微生物学及び環境科学講座

構成：教授 松尾卓見，講師 渡辺義人，助手 山本満寿夫，斎藤英毅

松尾教授：担当は微生物学，植物病理学，○微生物学特論。植物病原フザリウム菌の種・分化型・レース・生態の研究に長年にわたり従事し，多数の論文を発表した。現在は，フザリウム菌の分類及び生態に関して研究している。渡辺講師：担当は分析化学，土壤学肥料学，○環境科学特論。高山沼湖の水質保全に関する基礎的研究，諏訪湖集水域におけるN，Pの物質収支について検討してきた。現在は水圏の生物活動に伴う微量元素の挙動に関する研究，有機物土壌還元に伴う微量元素の挙動について検討している。山本助手：土壌中における有機物の分解過程と重金属の分布，挙動との関連についての基礎的研究を行ってきた。

現在は人間活動と環境の相互作用のうち、主に河川、湖沼における環境と機能及び物質の分布、移動、汚染機構、影響について検討している。齋藤助手：クワ芽枯病菌の伝播生態について研究している。

応用植物学講座

構成：教授 加藤泰正，助教授 柳沢幸男

加藤教授：担当は植物生理生態学，植物生理化学，○植物生理生態学特論。大豆の栄養生理，とくに葉の蛋白代謝回転と生長の関連性について研究してきた。現在は大豆の窒素代謝について検討している。柳沢助教授：担当は栽培学，栽桑学，○作物学特論。繊維作物および桑の生育と収量と栽培環境との関係について研究してきた。現在は桑葉の多収性について検討している。

応用動物学及び生態学講座

構成：教授 武田 晃，助教授 桜井善雄，助手 中本信忠。

武田教授：担当は動物生理学，畜産学，○動物生理学特論。鶏精子の老化。雌鶏生殖道における精子の行動。精子の形成速度ならびに雄生殖道通過速度について検討してきた。現在は家禽，家畜の繁殖生殖生理に関する研究について検討している。桜井助教授：担当は生態学，水質保全論，○生態学特論。河川・湖沼の微生物生態，長野県下陸水の水質保全，生活排水処理技術，霞ヶ浦の水生植物生態について検討してきた。現在は陸水の微生物生態と水質保全に関する研究一般について検討している。中本助手：従属栄養微生物の生長を利用した水中の栄養塩を評価する新しいバイオアッセイ法を考案。河川，湖沼，海洋の生態系の調査研究を行ってきた。現在は水界生態系の解析を行なっている。

附属農場

構成：教授 横沢弥五郎，助教授 押金健吾，助手 矢嶋征雄

横沢教授：担当は農学概論，園芸学，○園芸学特論。カキ・モモの訪花昆虫特にミツバチの花粉媒介の実態を解明すると共に，授粉樹の混植法について試案を作製した。現在はクルミの結実と栄養生理に関する研究，クルミの繁殖法に関して研究している。押金助教授：担当は栽桑学，農業科教育法，○栽桑学特論。クワの組織培養に関しては培養カルスから再分化クワ個体を育成させた。現在は，クワの培養カルスにおける器官再分化の研究，クワの生体リズムに関する研究など

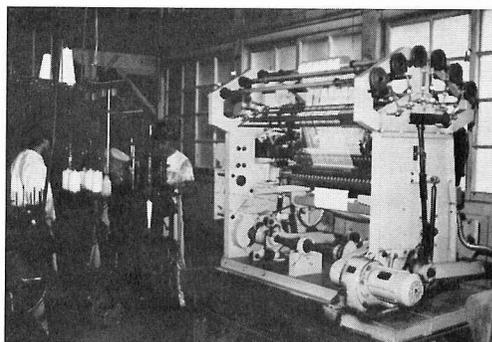
を行なっている。矢嶋助手：クルミの根に関する研究，天蚕及び柞蚕のふ化に及ぼす光周条件に関する研究を行ってきた。現在はクルミの開花・結実と栄養生理に関する研究を行なっている。

繊維工学科

繊維物理学講座

構成：教授 石川 博，助手 奈倉正宣

石川教授：担当は繊維物理学Ⅰ，Ⅱ，高分子分析法，高分子概論，高分子材料試験法，○繊維物理学特論。現在は絹繊維およびポリアミノ酸繊維の構造と物性の研究をしている。奈倉助手：現在は水素結合を有する高分子の分子運動と高分子間相互作用について研究している。



実習工場

計測学講座

構成：教授 沢路雅夫，講師 鳥羽栄治，助手 関口 定。

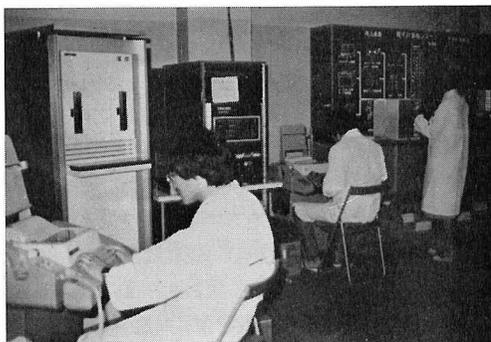
沢路教授：担当は電子工学Ⅰ，Ⅱ，計測工学Ⅰ，Ⅱ，○計測工学特論。半導体の特異伝導機構，織物の光沢度測定方法，顕微光沢計・三次元光沢計の発明と開発，鳴り砂の物性測定などを行ってきた。現在は絹鳴りの付着すべり現象に関する測定と解析を行なっている。鳥羽講師：時間および空間的なゆらぎの計測とその工業的応用に関する研究を行ってきた。現在はレーザー応用計測，赤外線応用計測などの計測法に関して検討している。関口助手：布の防風性およびその測定法について検討している。

繊維原科学講座

構成：教授 嶋崎昭典，助手 島田潤一

嶋崎教授：繊維管理工学，製糸工学，○R，電子計算機，繊維装置工学，○製糸学特論，○管理工学特論。製糸工程の統計的管理法が設定された。また織模様

自動生産システムを開発した。現在は極値現象の統計的解析法に関する研究および連続集合体の確率過程論的解析に関する研究を行なっている。 島田助手：繰糸張力の管理に関する研究を行なってきた。現在は絹織物の物理的性質について検討している。



電子計算機室

繊維機械学第1講座

構成：教授 久間秀彦，講師 土屋幾雄，助手 松本陽一。

久間教授：担当は繊維応用統計，繊維材料力学，繊維機械力学，○紡績学特論。紡績糸の強伸度について研究してきたが，現在はドラフトのシミュレーションおよびF. R. P.の機械的性質について検討している。土屋講師：担当は紡績学I，II，III，○絹糸紡績学。絹の発酵精練について研究したが，現在は絹織物の機械的性質について検討している。松本助手：紡績糸の機械的性質，スライバのむら及びドラフトのシミュレーションについて検討している。

繊維機械学第2講座

構成：教授 近田淳雄，講師 鳥海浩一郎，助手 美斉津利正。

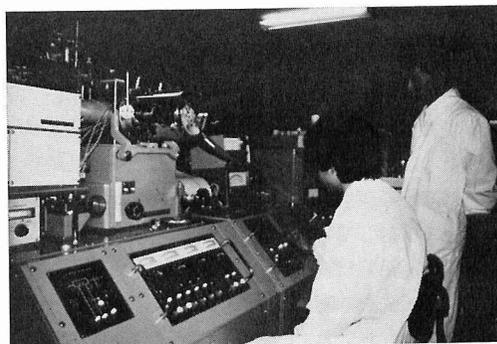
近田教授：担当は製布工学，織機構工学，繊維加工学，○繊維加工学特論。ポリエステル繊維の延伸処理による構造変化及び機械的性質の変化について研究してきた。現在は繊維の不均一構造と物性，布の消費科学的性能，繊維加工へのマイコン利用について検討している。 鳥海講師：担当は工業力学，製布工学，○繊維成形加工特論。繊維高分子の紡糸過程における熱工学的研究，すなわち構造と物性に関する実験により繊維形成過程について知見を得た。現在は紡糸過程のダイナミック・シミュレーション，織機のコンピュータ・コントロールについて研究している。 美斉津助手：織物の燃焼性に関して検討している。

繊維工業化学科

物理化学講座

構成：教授 後藤春雄，助教授 渋谷泰一，助手 山本 巖。

後藤教授：担当は物理化学，量子有機化学，○物理化学特論，複素環化合物の反応と合成に関する研究，分子の性質に関する計算，ポリペプチドの旋光に関する研究を行なってきた。現在は含窒素有機化合物及び有機燐化合物の反応性と合成に関する研究を行なっている。 渋谷助教授：担当は物理化学，量子化学，○化学物理学特論。原子・分子の電子状態理論においては状態間遷移を直接計算の対象とする運動方程式法を展開させ，通常扱いの困難な電子相関を効果的にとり込めるようにした。現在は，原子・分子の物理学(理論)，散逸構造の出現する化学反応の実験と理論を検討している。 山本助手：複素環化合物の合成に関して研究してきた。現在は含窒素有機資源の開発と利用について検討している。



質量分析装置

有機合成化学講座

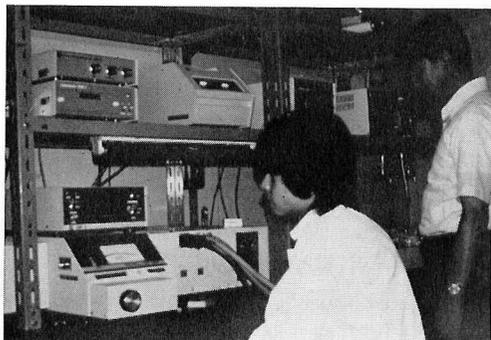
構成：教授 林 貞男，助手 平川清一。

林教授：担当は高分子合成化学，人造繊維化学，分析化学，○有機工業化学特論。水溶性高分子の保護コロイド性およびその存在下におけるビニル単量体の乳化重合について研究してきたが，現在は合成高分子とヨウ素との錯体形成反応およびその利用開発について検討している。 平川助手：キノン骨格を有するスピロ化合物の研究—転位反応による炭素骨格変換について研究してきた。現在は酸性溶媒中におけるアントラキノン誘導体の光反応および難分解性化合物の活性汚泥による生分解について検討している。

高分子化学講座

構成：教授 北条舒正，助手 平井利博。

北条教授：担当は有機工業化学Ⅱ，反応性高分子化学，○高分子合成化学。両性イオン交換樹脂，キレート樹脂，キレート反応の応用研究，耐熱性樹脂，メカノケミカル，高分子金属錯体の反応と機能について研究してきた。現在は高分子金属錯体の生理活性およびその応用研究，生体中における重金属の挙動，耐熱性高分子，新しい機能を有する高分子，高分子触媒について検討している。平井助手：高分子共重合体のシーケンス分布に関する研究，DNAのコンフォーメーション変化に関する動力学的研究を行ってきた。現在は合成高分子膜の製造とその機能に関して検討している。



電子スペクトル測定装置

高分子物理化学講座

構成：教授 松沢秀二，助手 山浦和男

松沢教授：担当は高分子物理化学，固体化学，溶液化学，○高分子材料学，○高分子構造論。シンジオタクチックポリビニルアルコールの合成，その性質および反応について研究してきた。現在はビニロンのホルマール化の際の架橋の証明，ゲルの構造，シンジオタクチックポリビニルアルコール繊維の製造について検討している。山浦助手：シンジオタクチックポリビニルアルコールおよび絹フィブロインの溶液からの流動結晶化，ゲル化重合の反応および溶液表面張力について研究してきた。現在は溶液流動結晶化によるポリビニルアルコール繊維および絹糸の製造などについて検討している。

色染加工学講座

構成：教授 三石 賢，助教授 清水 滉，助手 石渡 勉。

三石教授：担当は色染化学，有機工業化学，反応速度論，○色染化学特論。溶液中における染料の分散状態を物理化学的に詳細に検討し，繊維への吸着との関係を明らかにしてきた。現在は染色助剤の作用機構お

よび絹の染色理論の再検討を行なっている。清水助教授：担当は繊維化学加工学，天然繊維化学，○繊維化学加工学特論。絹に対する金属イオンの吸着機構および絹の光劣化に対する金属イオンの影響に関する研究を行ってきた。現在は絹の熱劣化に対する金属イオンの影響，金属媒染の研究を行っている。石渡助手：種々のイオン反応に対する高分子電解質の触媒的挙動を検討し，静電力，疎水力，電荷移動力の働きの重要性を明らかにした。現在は振動化学反応の高分子系への応用，高分子系における協同効果について検討している。

繊維機械学科

繊維応用力学講座

構成：教授 篠原 昭，助教授 内田貞夫，助手 飯田 一。

篠原教授：担当は材料力学Ⅰ，Ⅱ，材料力学特論，機械技術概論。○繊維応用力学，エラスチカ特に織物の力学的研究，プラスチックの射出成型の流動に関する研究などを行っている。内田助教授：担当は工業力学，機械設計製図Ⅱ。○材料力学特論。ゴムの摩擦について研究してきた。現在は生体関節の力学，摩擦特性，人工関節の摩擦，固定性，強度について研究している。飯田助手：繊維強化複合材料構造の数値解析的研究，FW圧力容器の力学的特性，非線形挙動の解析，カップリング効果を考慮した解析，CFRP-FW円筒の耐圧強度，積層材の強度の研究を行ってきた。現在FW圧力容器の最適化について検討している。



万能試験機

繊維機械学講座

構成：教授 一志淑夫，助教授 中沢 賢，助手 松橋周一。

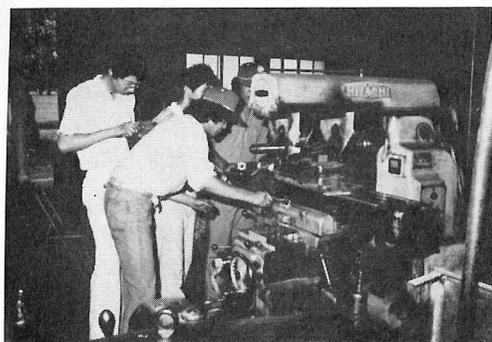
一志教授：担当は機構学，機械設計Ⅰ，Ⅱ，機械設

計製図 I, 繊維機械学, ○繊維機械学特論. 粗紡機の巻取り機構に関する一連の研究, 純曲げ試験機等の試作研究を行ってきた. 現在繊維機械の適正化について検討, また連続重量測定機構, 運動変換機構等の各種機構の開発を行っている. 中沢助教授: 担当は振動工学, 機械力学, ○機械力学特論. 弾性結合系の振動解析, 粗紡機の巻取り機構の研究を行ってきた. 現在流体が流れている管の不安定現象, 機械の騒音と振動について研究している. 松橋助手: 粗紡機の巻取りに関する研究, 自動車の制動に関する研究を行っている.

熱及び流体工学講座

構成: 教授 久我 修, 講師 日向 滋.

久我教授: 担当は熱力学, 熱工学, エネルギー変換工学, ○熱工学特論. 非等温壁および非等熱流束の円管内層流および乱流熱伝達に関する研究を行ってきた. 現在省エネルギーに関連して有効エネルギー (エクセルギ) 概念を熱力学系に適用しエネルギー利用の適正な評価を行うことを試みている. 日向講師: 担当は水力学, 流体力学, ○流体工学特論. 気液二相流におけるボイド率分布に関する研究を行ってきた. 現在気液二相噴流に関する研究を行っている.



工作実習

繊維測定機械学講座

構成: 教授 村上 尚, 助教授 青沼 茂, 助手 小林俊一.

村上教授: 担当は機械制作法, 工作機械学, 制御工学 I, II, 機械設計製図 II, ○繊維制御学特論. 制御技術を応用した繊維材料試験機の試作研究, サーカスルームの研究, 電子型万能試験機に関する研究を行ってきた. 現在マイコンの応用研究を行っている. 青沼助教授: 担当は機械計測 I, II, 実験工学, ○繊維測定学特論. 織物の荷重入力試験機の試作研究, 空圧サーボの研究を行ってきた. 現在純流体素子の研究,

シート状物質の変形にともなう音の解析, 真応力測定用引張試験機の研究を行っている. 小林助手: 無駄時間系の最適制御, 推定問題の研究を行ってきた. 現在マイコン等の応用による織機を開発している.

繊維化学機械学講座

構成: 教授 高木春郎, 助教授 大原啓司, 助手 内山昭司.

高木教授: 担当は工業材料学 I, II, 工業材料学特論, ○繊維工業材料学特論. 金属の高温硬さの測定法, 鋼のA₁変態について研究を行ってきた. 現在鋼の塑性加工および熱処理に伴なう材料の性質の変化, 機械技術における化学的諸問題について研究している. 大原助教授: 担当は工業物理化学, 工業材料学特論, ○有機工業材料学特論. 高分子フィルムの摩擦帯電熱刺激電流それらに伴なう分子運動について研究してきた. 現在高分子材料の物性に関する基礎的な諸問題を研究している. 内山助手: 膨潤度測定機の試作, 金属材料の組織の研究を行っている.

繊維化学工学科

工業物理化学講座

構成: 教授 黒岩茂隆, 助教授 松田英臣, 助手 藤松 仁.

黒岩教授: 担当はコロイド化学, 界面化学, 工業物理化学, 有機工業化学, ○応用コロイドおよび界面化学特論. 界面活性剤の溶解状態, 特にミセルの性状に関するコロイド学的研究, 固体表面の水と油に対する選択湿潤, 分散剤としての界面活性剤と染料との相互作用, コンプレックスその他の分子種の生成量を光学的に求める方法の開発およびそれを用いての染料の分散状態に関する研究を行ってきた. 現在界面活性剤のコロイド学的研究および染料の分散状態と染色性に関する研究を行っている. 松田助教授: 担当は反応工学, 統計力学概論, 工業熱力学, 高分子化学, 工業物理化学, ○高分子物理化学. 高分子の分子量および分子量分布の測定および高分子溶液の沈降および拡散の研究を行ってきた. 現在高分子のキャラクタリゼーションおよび高分子溶液のゾル-ゲル変化の研究を行っている. 藤松助手: 界面活性剤が形成するリオトロピック液晶についての研究を行ってきた. 現在会合溶液の相分離現象, 特に非イオン界面活性剤水溶液の相分離現象に関連する溶液物性についての研究を行っている.

単位操作第1講座

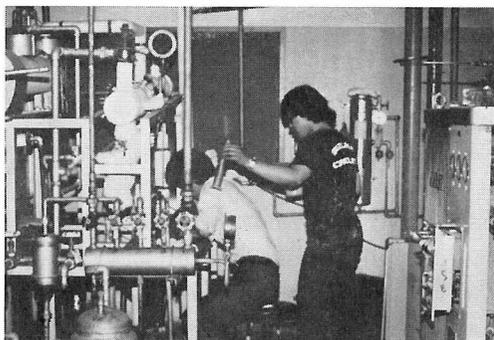
構成：教授 佐納良樹，助手 新井親夫。

佐納教授：担当は，物質移動単位操作，機械的単位操作，○粉体工学特論・回分式および連続式粉粒体混合機の混合性能の定量化に成功したほか，タッピングならびに2次元流動層における粒子の分離偏折機構について理論的，実験的に解明した。現在は廃水処理の固定化微生物の応用について研究している。新井助手：多孔質粉粒体の混合及び乾燥について検討してきた。現在は多孔質粉粒体の平衡含水率および吸着特性について検討している。

単位操作第2講座

構成：教授 隅田隆太郎，講師 矢彦沢清允，助手 柄沢昭生。

隅田教授：担当は化学工学総論，レオロジー，高分子材料成型学，有機工業化学概論，○合成繊維紡糸論。紡糸時の延伸に関する研究，エマルジョン紡糸に関する研究，押出し機的设计に関する基礎研究，用廃水中の重金属処理について検討している。矢彦沢講師：担当は分析化学，○高分子成型加工特論エマルジョン紡糸に関する研究，押し出し機的设计に関する基礎研究，用廃水中の重金属処理に関する基礎研究を行なっている。柄沢助手：エマルジョン紡糸に関する研究，押し出し機的设计に関する基礎研究を行っている。



化学工学学生実験

反応工学講座

構成：教授 竹田邦彦，講師 小笠原真次，助手 服部博嗣。

竹田教授：担当は流体および伝熱工学，反応工学I，○反応装置内流動特論。竹田教授と服部助手は固気接触装置の一つである噴流層装置について研究し，新しく二重管式側方排気型噴流層装置を開発した。小笠原講師：担当は物理化学，工業熱力学，○触媒装置工学特論。分散染料の分散状態及び染料と界面活性剤と

の相互作用に関する研究を行ってきた。現在は繊維基質内における染料の拡散と吸着，および繊維の界面電気化学的性質に関して検討している。

機能高分子学科

(昭和53年新設，現在は学年進行中)

生体高分子学講座

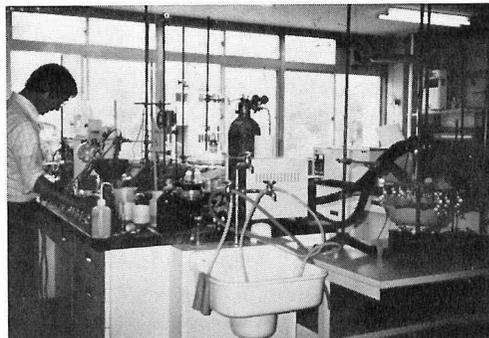
構成：教授 大木幸介，助教授 近藤慶之，助手 藤井敏弘。

大木教授：担当は分子生物学，量子生物学，○機能生理学。網膜色素の量子生物学的研究，TRH（甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン）錯体の研究を行ってきた。現在は脳内ペプチドホルモンの構造と機能に関する研究，分子言語としてのホルモンおよび医薬品の研究を行なっている。近藤助教授：担当は生体高分子論，天然高分子物理学，○生物物理化学。絹フィブロイン模型の機械的変性，ポリペプチドの合成とコンホメーションの研究を行ってきた。現在は生理活性ペプチドの構造と物性，ポリペプチド濃厚溶液の構造について研究している。藤井助手：微小管とアクトミオシンの相互作用，微小管のエネルギー転換系について研究してきた。現在は微小管，アクトミオシンの構造と性質の相関性について検討している。

反応性高分子講座

構成：助教授 白井注芳，助手 阿部康次。

白井助教授：担当は高分子触媒化学，高分子反応論，○錯体化学特論。耐熱性高分子，高分子錯体の生成と機能，金属錯体による重合，金属ポリフィラジンとそのポリマーについて研究してきた。現在は高分子錯体の合成と機能，機能性ポリフィラジン錯体，生体高分子と金属イオンについて研究している。阿部助手：溶液中における高分子間相互作用について研究してき



高分子合成実験

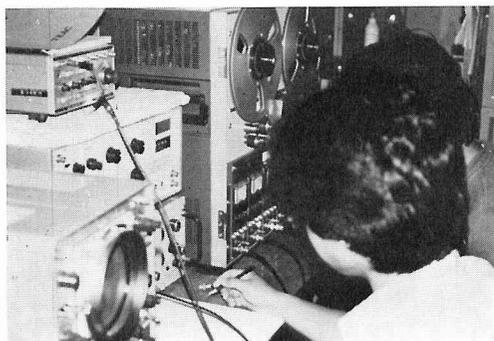
た。現在は、高分子錯体、応用高分子材料、高分子加工などをテーマに溶存高分子の重合現象を扱っている。

共通講座

応用物理学講座

構成：教授 佐藤良泰，講師 鈴木昭弘，助手 桜井正幸。

佐藤教授：担当は物性物理学要論，工業物理学要論，○応用物性物理特論。非線型有限変形粘弾性体力学の解析体系の構成，充填剤補強効果の理論，elastomer, plastomer など柔軟物体の力学について研究してきた。現在は，柔軟物体に対する大変形粘弾性体力学の応用面の開拓，glass-liquid 転移，glass-rubber 転位の分子機構および無定形固体の物性について検討している。鈴木講師：担当は物理学，科学技術史，○応用物理学特論。原子核間相互作用，計算機による数式処理，大量情報処理について検討している。桜井助手：充填剤補強ゴムの力学物性，elastomer, plastomer など柔軟物体の力学について研究してきた。現在は，柔軟物体に対する大変形粘弾性体力学の応用面の開拓，無定形物質の各種破壊過程と内部構造や分子的過程との関係について検討している。



電気工学実験

応用数学講座

構成：助教授 大安和彬。

大安助教授：数学解析，代数学，○応用数学。現在理論物理学を研究している。

生物化学講座

構成：教授 小山長雄，助手 滝沢達夫。

小山教授：担当は応用昆虫学，環境生物学，○生物工学特論，昆虫鱗翅類の複眼の機能を究明してきた。また河川構造物とくに魚道の効果を研究してきた。現在は，昆虫の複眼，マダラテントウの種分化，魚道の

研究を行なっている。滝沢助手：昆虫の形態と光反射性について究明している。

経営工学講座

構成：教授 宮坂正治，講師 三浦幹彦。

宮坂教授：担当は工業経営学，生産管理，○経営政策特論。不完全競争企業の経営政策のうち，生産政策，販売政策について研究してきた。現在は不完全競争企業の経営政策を体系づけるために財務政策について検討している。三浦講師：統計学，品質管理，○経営工学特論。標本平均からの偏差に基づく極値統計量の分布とその生糸品質管理への応用に関して研究している。

一般電気工学講座

構成：助教授 佐藤 弘，助手 岩佐昌征。

佐藤助教授：担当は電気工学，電気工学実験，○電気工学特論。現在は低電離プラズマの不安定性と乱流拡散について検討している。

附属高分子工業研究施設

高分子合成部門

構成：教授 早川忠男，助教授 山本浩之，助手 井上克彦。

早川教授：担当は有機化学，タンパク質化学，○タンパク質化学特論。各種ポリアミノ酸の合成と構造を研究し，結果は日本化学会，高分子学会，および外国の専門誌に掲載。現在は特殊な側鎖をもつポリアミノ酸の合成と構造，ポリアミノ酸の触媒作用，反応性ポリアミノ酸の合成を行なっている。山本助教授：担当は生物化学，立体化学，○立体化学特論。種々のポリアミノ酸の合成・構造・加水分解酵素モデルについての結果を内外の専門誌に掲載。現在は反応性側鎖をもつポリアミノ酸の合成とその触媒作用の研究を行な



旋光分散測定装置

っている。井上助手：種々のポリアミノ酸の合成、構造およびコラーゲンモデルペプチドの合成、物性について外国の専門誌に掲載、現在は特殊な側鎖をもつポリアミノ酸の合成と構造、コラーゲンモデルペプチドの合成と物性について検討している。

高分子物性部門

構成：教授 飯塚英策，助教授 八森 章。

飯塚教授：担当は物理学，物理学演習，○生体高分

子学。網糸形成機構の解析，タンパク質2次構造の解明，生体高分子液晶の構造と物性について研究してきた。現在は蚕品種と網糸構造の物性との相関，合成ポリリボ核酸液晶の磁気物性など。八森助教授：担当は物理化学，○酵素化学。耐熱性を示すタンパク質の構造について研究してきた。現在はタンパク質の安定性と構造の関係について検討している。

信州大学繊維学部事務研究室職員

事務部長	白倉 一 男	事務官	赤羽 賢 郎	〃	土屋 撰 子
事務長補佐	水崎 広 沖	〃	若林 吉 久	事務官	宮原 俊 雄
庶務係	丸山 起 巳	〃	丸山 山 忠	技術補佐	滋野 たか ね
主任	高柳 雅 子	事務補用員	笹木 野 茂	工業化学	山崎 和 雄
事務官	桜井 千 之	教務係	土屋 志 げ	〃	本吉 谷 二郎
技官	滝沢 桂 一	係長	百瀬 章 雄	〃	武重 まさ 子
事務補	上野 寿 美	教務主任	大島 典 弘	〃	納谷 留 蔵
會計	遠山 和 孝	事務官	満木 恵 子	事務官	黒岩 正 子
主任	滝沢 道 大	〃	宮原 敏 雄	〃	鍋島 和 子
事務官	須田 昭 夫	係長	小坂 幸 男	〃	小境 正 隆
〃	春原 秀 成	事務官	清道 義 晴	〃	田中 武 夫
〃	塩入 一 良	技官	西沢 かの え	〃	市村 内 妙 子
〃	寺沢 藤 男	臨用員	津田 作 治	〃	堀小 林 京 子
〃	宮島 和 恵	研究員	小宮 山 フ ミ	〃	久保 山 袈 子
技官	堀内 勝 義	繊維農学科官	荒井 律 子	繊維化学工務官	松富 山 孝 隼
管理	児玉 寛 甫	技事務官	滝山 田 晴 子	〃	久丸 山 武 正
係長	小日方 典 頼	技事務官	山西 沢 林 吉 清	〃	上中 倉 沢 卓 二
事務官	大金 井 和 頼	〃	小竹 内 幸 子	〃	倉田 中 利 男
〃	堀内 恵 美 子	繊維工学科官	宮原 山 展 重	事務官	田黒 英 重 功
〃	吉池 恒 雄	〃	香山 山 展 重	事務官	田山 功 緑
〃	小宮 山 良 一	〃	香野 展 重	事務官	金山 功 緑

